

平成 29 年度 教育に関する事務の点検・評価報告書の概要

「あいちの教育ビジョン2020」実施状況報告書

☆：29年度実施状況 ★：課題

■ 教育に関する事務の点検・評価報告書について

1 趣旨

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条では、教育委員会は毎年、教育に関する事務の管理及び執行の状況について点検・評価を行うことなどが規定されている。

この報告書は、同条に基づき作成するもので、議会へ提出するとともに公表する。

また、「あいちの教育ビジョン2020」（以下「ビジョン」という。）に基づく取組状況の年次報告書としても位置付ける。

2 学識経験者の知見の活用

点検・評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図ることとされており、報告書案に対して、以下の方々から意見をいただいた。

氏名	所属等
中野 靖彦	愛知教育大学名誉教授
柴田 好章	名古屋大学大学院教育発達科学研究科教育科学専攻教授
白井 正康	愛知教育大学連携業務アドバイザー（前愛知教育大学理事）

（敬称略）

3 点検・評価の手法・構成

- （1）ビジョンで掲げた「『あいちの人間像』を実現する5つの基本的な取組の方向」に沿って5章で構成
- （2）各章では、本県において平成29年度に積極的に取り組んだ施策を15項目の主要テーマとして設定し、テーマごとに、施策の実施状況、取組の成果、今後の方向性（短期に取り組むもの、長期的に取り組むもの）を記載
- （3）県教育委員会の取組だけでなく、知事部局、警察、市町村教育委員会や学校の取組もあわせて掲載
- （4）ビジョンで設定した「指標」の達成状況及び個別施策の実施状況は、一覧表形式で整理
- （5）学識経験者からの意見を巻末に掲載

第1章 個に応じたきめ細かな教育を充実させ、一人一人の個性や可能性を伸ばします

テーマ1 指導改善への取組 **本冊2P**

☆ 小1、小2、中1で少人数学級を継続実施、全国学力・学習状況調査の結果を分析し指導改善の方向性を提示、スーパーサイエンスハイスクール（SSH）県立7校における理数教育の展開

★ 少人数教育を継続していくとともに、課題の発見・解決に向けた主体的・対話的で深い学びを取り入れた教科等の学びによる指導改善の推進が必要、知的好奇心や探究心を刺激し、科学的な見方や考え方を養う学びの工夫が必要

【今後の方向性】

〈短期〉 少人数学級・少人数指導の継続実施、全国学力・学習状況調査結果の分析を踏まえた学力向上に資する取組の普及、STEM教育の先進的取組の普及

〈長期〉 国の教職員定数改善を踏まえた、少人数学級の実施学年の拡大を含めた少人数教育の推進についての検討、SSHの研究成果の活用によるグローバル・リーダーの育成

テーマ2 多様な学びを保障する学校・仕組みづくり **本冊6P**

☆ 新たな公立高等学校入学者選抜制度の導入、県立高等学校教育推進実施計画（第1期）の実施

★ 不登校や恵まれない家庭環境にある子どもたちや外国人児童生徒など、多様な学習ニーズに対応できる学校づくりが一層重要

【今後の方向性】

〈短期〉 昼間定時制高校や総合学科のさらなる設置、普通科コース制の新設、全日制単位制高校の設置

〈長期〉 平成31年度以降の第2期実施計画の推進、中等教育学校や併設型中高一貫校についての研究

テーマ3 特別支援教育の充実 **本冊8P**

☆ 特別支援学校の整備＜大府もちのき、瀬戸つばき（建設工事）＞、スクールバスの増車＜肢体不自由特別支援学校2校（港、岡崎）＞、就労アドバイザー（2名）の配置

★ 特別支援学校の規模の過大化による教室不足の解消、長時間通学の負担軽減、特別支援学校高等部卒業生の就職率の向上

【今後の方向性】

〈短期〉 新設校整備の推進、スクールバスの計画的な更新、就労アドバイザー増員の検討

〈長期〉 「愛知県特別支援教育推進計画」に基づく着実な取組、人的配置や環境整備の充実に向けた検討

テーマ4 子どもたちへの支援の充実 **本冊12P**

- ☆ スクールソーシャルワーカーの設置、地域未来塾の実施、放課後子ども教室の拡充、日本語指導が必要な子どもたちへの支援
- ★ 困難を抱える子どもたちの環境改善のため、関係機関と連携して対応することや、外国人児童生徒の学習活動や学校生活等に対して支援する必要

【今後の方向性】

- 〈短期〉 スクールソーシャルワーカーの人材確保と教員とのよりよい連携体制の構築、語学相談員や支援員の拡充
- 〈長期〉 市町村へのスクールソーシャルワーカーの配置要請、全市町村に語学相談員が配置されるよう必要性を周知

第2章 人としての在り方・生き方を考える教育を充実させ、道徳性・社会性を育みます

テーマ5 モラルの向上 **本冊18P**

- ☆ 体験活動・地域貢献活動の実施、道徳教育総合推進サイト「モラルBOX」による道徳教育の普及啓発、ネットパトロール事業の実施、主権者教育の事業実践例をまとめた報告書の作成
- ★ 「特別の教科 道徳」の実施に伴う授業改善、人権教育・啓発の推進、情報モラルを含めた規範意識の向上、高等学校での主権者教育の取組が重要

【今後の方向性】

- 〈短期〉 体験活動の実践による自己肯定感の育成、人権教育の研修内容充実、家庭・地域と協働した情報モラル教育の推進、主権者教育における教員の指導力向上
- 〈長期〉 家庭・地域・学校が連携した道徳教育、人権教育とその啓発、主権者教育のより一層の充実

テーマ6 いじめ・不登校等への対応 **本冊22P**

- ☆ スクールカウンセラーの設置、スクールソーシャルワーカーの設置及び市町村への補助、いじめ電話相談事業の継続実施、ネットパトロール事業の継続実施、校内生徒指導体制の充実、警察等連携機関との連携強化
- ★ いじめの未然防止・早期発見・早期対応、小・中学校では過去最多となっている不登校児童生徒への対応が重要

【今後の方向性】

- 〈短期〉 「学校いじめ防止基本方針」を用いた教員研修の実施、生徒指導体制の充実や関係機関との連携強化、「いじめ対応支援チーム」による市町村への支援の継続推進、いじめ不登校の未然防止強化
- 〈長期〉 スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーの有効活用の推進、小中連携を視野に入れたスクールカウンセラーの効果的な配置、関係機関と連携して取り組む体制の整備・充実

第3章 健やかな体と心を育む教育を充実させ、たくましく生きる力を育みます

テーマ7 幼児教育の充実と家庭教育の支援 **本冊28P**

- ☆ 幼児教育研究協議会での研究協議の実施、研修の充実、「親の学び」学習プログラムを活用した家庭教育研修会の実施、「あいっこ家庭教育応援企業」の拡充、放課後子ども教室の拡充
- ★ 幼児教育機関において質の高い幼児教育を展開し、小学校との連携強化、家庭や地域の教育力を高めること、子育てに対する支援を充実させることが必要

【今後の方向性】

- 〈短期〉 家庭教育研修会の講師の育成、保護者へのあらゆる機会を通じた働きかけ、放課後児童クラブと放課後子ども教室との共通プログラムの実施に向けた働きかけ
- 〈長期〉 家庭教育支援の充実、全小学校区における放課後子ども教室の実施及び共通プログラムの実施

テーマ8 健康教育・学校体育の充実 **本冊32P**

- ☆ 食物アレルギー対応検討委員会の実施、健康教育に係る各種研修会の実施、子どもの体力向上運動プログラムの効果的な活用
- ★ 食物アレルギー対応に重点をおいた危機管理体制の構築、学校教育活動全体を通じた体力づくりの推進が必要

【今後の方向性】

- 〈短期〉 薬物乱用防止教育や自殺予防教育、食物アレルギー対応の推進、学校体育の授業内容・指導方法に関する研修の継続実施、体力づくり優良校や体力テスト優良児童生徒の顕彰
- 〈長期〉 食物アレルギー対応の一層の充実、「体力向上プログラム」の普及・活用

第4章 未来への学びを充実させ、あいちを担う人材を育成します

テーマ9 キャリア教育の推進 **本冊38P**

- ☆ 小学校における発達段階に応じた体験教育の実施、中学校における職場体験活動、高等学校におけるインターンシップ、特別支援学校における職場見学・就労体験活動・現場実習の実施
- ★ 児童生徒の社会的・職業的自立に向けた諸能力と、望ましい勤労観・職業観の育成のために、学校段階ごとの系統的な取組が必要

【今後の方向性】

- 〈短期〉 小学校における体験活動及び事前・事後指導の充実、中学校における系統的なキャリア教育の展開、高等学校におけるキャリア教育コーディネーターによる普通科・総合学科へのキャリア教育の充実、特別支援学校における実習先の拡大や就業率の向上を目指した就労アドバイザーの配置
- 〈長期〉 小・中・高等学校における地域や産業界、関係機関とのさらなる連携、特別支援学校における新たな就労支援システムの構築

テーマ10 グローバル化への対応 **本冊42P**

☆ 「ユネスコスクール交流会」の開催、あいちスーパーイングリッシュハブスクール事業の実施、「イングリッシュキャンプ in あいち」の開催

★ 主体性や積極性、課題を発見し解決する力、あきらめないチャレンジ精神、英語を始めとした語学力など、グローバル社会で必要となる力を発達段階に応じて育成することが必要

【今後の方向性】

〈短期〉 ユネスコスクール支援会議の設置、英語教育指導者研修の継続実施、ハブスクールでの取組の成果を普及・還元、「イングリッシュキャンプ」の内容の充実、小・中学校における英語科の指導と適切な評価の在り方の研究

〈長期〉 異文化を受け入れる精神性、異文化の中でたくましく生き抜く力、自国の文化を理解した上で対等に語り合うことのできる力を身に付けた人材の育成

テーマ11 伝統文化・文化財の継承と新たな文化の創造 **本冊46P**

☆ あいち山車まつり活性化事業の実施、清洲貝殻山貝塚資料館の拡充整備、朝日遺跡魅力発信事業の実施、アートフェスタの開催

★ 地域に根ざした様々な祭りや民俗芸能の魅力を広く県民に発信し、伝統文化を尊重する気運を醸成していくこと、史跡貝殻山貝塚を含む朝日遺跡を適切に保存し、広く公開・活用していくことが必要

【今後の方向性】

〈短期〉 あいちの山車文化の魅力発信と気運高揚、朝日遺跡の整備計画の具体化と魅力発信

〈長期〉 山車まつりを始めとした本県の多様な伝統文化の保存・継承と県民への普及・啓発、清洲貝殻山貝塚資料館の平成32年秋の開館に向けた計画的な整備、文化財の適切な保存・活用

テーマ12 生涯学習・スポーツの推進 **本冊50P**

☆ 生涯学習推進計画の改訂に向けた検討、「学びネットあいち」の運営、愛知県子ども読書活動推進大会の開催、子どもスポーツふれあい事業の実施、東京オリンピック・パラリンピック強化選手の競技力の強化

★ 県民がより豊かで充実した人生を送るために、生涯にわたる自発的・主体的に学び続けることができ、学んだ成果を様々な場面で生かすことができる活動の場が必要

【今後の方向性】

〈短期〉 「学びネットあいち」の一層の充実、次期子ども読書活動推進計画の検討、子どもスポーツふれあい事業の継続的な開催、家庭で楽しめるスポーツイベントの計画

〈長期〉 第2期生涯学習推進計画に基づく市町村等関係機関と連携した生涯学習施策の推進、生涯スポーツ社会の実現

第5章 学びがいのある魅力的な教育環境づくりを進めます**テーマ13 教員の資質能力の向上・多忙化解消への支援と開かれた学校づくりへの取組** **本冊56P**

☆ 教育研究リーダー養成研修の実施、教員の多忙化解消に向けた取組の検討とプランの策定、地域学校協働活動推進体制づくりへの支援

★ 教員自身が生涯にわたって資質能力を高め、意欲とやりがいをもって、健康で充実して働き続けるためには、本来的な業務に専念できる環境づくりの推進、地域全体で子どもたちの成長を支える体制の整備が必要

【今後の方向性】

〈短期〉 教員採用選考試験の工夫による多様な経験を有する人材の確保、教員の多忙化解消プランの具体的取組の進捗状況の点検と成果の普及、地域学校協働本部推進会議の開催

〈長期〉 本県の実情に応じた人材育成、教員の多忙化解消プランに基づいた学校の組織体制の拡充、学校を核とした地域づくりの充実

テーマ14 学校施設・設備の充実 **本冊60P**

☆ 県立学校における武道場等の吊り天井の耐震対策、県立学校の老朽化対策、特別支援学校の教育環境の整備、理科教育・産業教育設備の整備

★ 県立学校・市町村立小中学校施設の耐震対策と老朽化対策

【今後の方向性】

〈短期〉 武道場等吊り天井の耐震対策の計画的実施、学校施設長寿命化計画の策定、第2期県立高等学校教育推進実施計画に産業教育設備の整備計画の指針策定

〈長期〉 県立学校施設の長寿命化計画に基づき中長期の老朽化対策の実施

テーマ15 大学との連携と私立学校の振興 **本冊64P**

☆ 「あいちの学校連携ネット」による情報発信、大学・企業と連携したスポーツ事業の実施、私立学校への補助の実施、私立学校に通う保護者負担の軽減実施

★ 高大連携による魅力的な教育活動の推進、大学と小・中学校との組織的な連携推進、愛知の公教育で重要な役割を担っている私立学校の振興

【今後の方向性】

〈短期〉 「あいちの学校連携ネット」の掲載内容の見直し、大学や企業と連携した体育・スポーツ振興に関する県独自事業の検討、高大接続のあり方を含む研究成果の普及、公私の在り方についての意見交換

〈長期〉 「あいちの学校連携ネット」の充実に向けた検討、高大接続の在り方について検討、私立学校の教育条件の維持及び向上

指標の達成状況

指 標	ビジョン策定時点		目 標		28年度	29年度
	年度	数値	年度	数値		
1. 個に応じたきめ細かな教育を充実させ、一人一人の個性や可能性を伸ばします						
(1) 学力・学習状況充実プランの改善の指針を踏まえて、学力向上に向けた教育活動を進めている小・中学校の割合	27	—	32	100%	100%	100%
(2) 授業改善に関する指標						
ア 「授業のはじめに目標(めあて・ねらい)が示されていたと思いますか」の問いに対して肯定的に回答する児童生徒の割合	27	小:83.6% 中:74.4%	毎年度	前回調査 上回る	小:85.9% 中:80.0%	小:86.6% 中:83.1%
イ 「学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていたと思いますか」の問いに対して肯定的に回答する児童生徒の割合	27	小:82.9% 中:75.5%			小:81.0% 中:74.6%	小:81.9% 中:78.8%
ウ 「授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか」の問いに対して肯定的に回答する児童生徒の割合	27	小:68.7% 中:52.3%			小:71.7% 中:55.6%	小:70.9% 中:57.4%
(3) 進学や就職等進路が決まらないまま卒業する中学生の人数・割合	26	767人 1.04%	毎年度	前年度 下回る	705人 1.04%	614人 0.85%
(4) 公立中学校から高等学校等への支援情報の引継率	27	60.3%	毎年度	前年度 上回る	41.4%	42.0%
(5) 肢体不自由特別支援学校におけるスクールバスの乗車時間	27	60分以上の 生徒数 161人	30	最大60分程 度	60分以上の 生徒数 151人	60分以上の 生徒数 145人
(6) 特別支援学校高等部卒業生の一般就労の就職率	26	36.7%	32	50%	36.9%	38.2%
(7) 外国人のプレスクール実施市町村数	26	15市町村	32	増加	15市町村	16市町村
(8) 地域未来塾の実施市町村数	27	2市町村	毎年度	増加	10市町村	15市町村
2. 人としての在り方・生き方を考える教育を充実させ、道徳性・社会性を育みます						
(1) 道徳性・社会性、魅力ある学校に関する指標						
ア 「学校のきまりを守っていますか」の問いに対して肯定的に回答する児童生徒の割合	27	小:91.9% 中:95.3%	毎年度	前回調査 上回る	小:92.6% 中:95.4%	小:92.6% 中:95.2%
イ 「自分にはよいところがあると思いますか」の問いに対して肯定的に回答する児童生徒の割合	27	小:75.8% 中:68.6%			小:76.3% 中:69.8%	小:77.9% 中:70.7%
ウ 「学校に行くのは楽しいと思いますか」の問いに対して肯定的に回答する児童生徒の割合	27	小:87.1% 中:81.7%			小:86.7% 中:81.2%	小:86.3% 中:80.9%
(2) 「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか」の問いに対して肯定的に回答する児童生徒の割合	27	小:95.8% 中:93.0%	毎年度	前回調査 上回る	小:96.2% 中:92.7%	小:96.1% 中:92.8%
(3) 愛知県内の学校(国公立小・中・高・特別支援学校)におけるいじめの解消率	26	82.5%	32	100%	83.6%	91.3%
(4) 公立小・中・高等学校におけるスクールソーシャルワーカー(SSW)及びスクールカウンセラー(SC)の配置人数	25	SSW:20人 SC:523人	毎年度	増加	SSW:36人 SC:556人	SSW:47人 SC:542人

指 標	ビジョン策定時点		目 標		28年度	29年度
	年度	数値	年度	数値		
3. 健やかな体と心を育む教育を充実させ、たくましく生きる力を育みます						
(1) 「親の学び」学習プログラム活用講座参加人数	26	2,317人	毎年度	2,000人 以上	2,215人	2,167人
(2) 放課後児童クラブ児童の放課後子ども教室等教育プログラムへの参加が可能な小学校区の割合	26	37.1%	32	100%	39.8%	44.1%
(3) 幼稚園等と連携・接続している小学校の割合	26	57%	32	75%	56%	非調査 年度
(4) 学校給食における年間に使用した県産食品の種類	26	54種類	32	60種類 以上	27年度 57種類	28年度 57種類
(5) 薬物乱用防止教室を実施した公立小・中学校の割合	26	小:65.5% 中:88.4%	毎年度	毎年度 上回る	小:75.2% 中:91.9%	小:77.3% 中:89.9%
(6) 県内小学校における体力向上運動プログラムの活用状況	27	57.6%	32	80%以上	99.40%	99.7%
4. 未来への学びを充実させ、あいちを担う人材を育成します						
(1) 県立全日制高等学校におけるインターンシップ等に参加した生徒数	26	11,286人	32	18,000人	17,323人	18,243人
(2) キャリア教育の視点で体験活動を実施している小学校の割合	27	66.6%	32	100%	76.4%	76.3%
(3) 「外国語が話せるようになって自分で外国に行ってみたいですか」の問いに対して肯定的に回答する児童生徒の割合	24	小:72.7% 中:59.2% 高:62.4%	毎年度	前回調査 上回る	該当なし	31年度 実施予定
(4) 高校第3学年において、英検準2級以上を取得している生徒及び英検準2級以上相当の英語力を有すると思われる生徒の割合	27	30.0%	32	50%以上	30.4%	34.7%
(5) 生涯学習情報システムアクセス数	26	187,606件	毎年度	前年度 上回る	102,499件	111,801件
(6) 2020年東京オリンピック競技大会への愛知県ゆかりの選手の輩出数	24	ロンドン大会 20人	32	80人以上	リオデジャネイ ロ大会 37人	強化中
(7) 2020年東京パラリンピック競技大会への愛知県ゆかりの選手の輩出数	24	ロンドン大会 8人	32	15人以上	リオデジャネイ ロ大会 7人	強化中
5. 学びがいのある魅力的な教育環境づくりを進めます						
(1) 授業中にICTを活用して指導できる教員の割合	26	64.9%	32	80%	60.1%	67.0%
(2) 愛知県総合教育センターにおける研修・講座等に学生が参観する取組に参加する大学数	27	3校	32	8校	4校	6校
(3) 三河山間地域における中高連携を通じた交流事業数	25	3件	32	6件	3件	3件
(4) 学校支援ボランティアの実施校の割合	25	小:96% 中:76%	32	各100%	小:98.4% 中:88.0%	非調査 年度
(5) 教員の多忙化解消に向けた取組を学校経営案に位置付けている県立学校の割合	27	—	32	100%	10.8%	100.0%
(6) 市町村教育委員会において、教員の多忙化解消に向けた方針を策定し、取組を進めている市町村数	27	—	32	全市町村	3市町村	13市町村